科目ナンバリング	U-LAS04 10007 LJ46						
授業科目名 <英訳>	行動病理学Ⅰ Behavioral Pathology I			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科	非常勤講師 武本　一美 非常勤講師 中村　治 准教授　松本　卓也 非常勤講師 岡安　裕介 非常勤講師 舟木　徹男 非常勤講師 佐藤　泰子 非常勤講師 得能　想平	
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	金5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

精神の病理は、しばしば対人的・社会的な行動の病理として現れる。しかし、精神の病理を有する人たちも社会の一員である。したがって社会は、これらの行動を自らの内に統合するための共生の論理を見出さなければならない。本講義では、精神障害者の病理的な行動の特性について科学的な知識を得るとともに、法制面・福祉面（特に、福祉現場において生じる心理社会的課題やそれらに対する心理的支援）を含めて、それらの病理行動と社会の接点を探り、障害者の社会復帰を巡る諸問題に考察を広げる。

[到達目標]

精神障害者の社会復帰にむけての社会の態勢づくりがなぜ必須であるかを、病の特質と人道的理由の両面から理解すること。

[授業計画と内容]

精神障害において現れる行動の病理を精神医学的・心理学的に説明し、それらの障害への対応をめぐる医療技術、法体制、そして福祉施策と支援の実際を概観して、現在の社会的状況の歴史的な経緯やこれからの望ましいあり方について考察する。また、その際に問題となる重要な論点を巡って、精神医学的観点から考察する。

武本一美：精神障害の病理とその支援
中村　治：精神障害者処遇の歴史（洛北岩倉における精神障害者預かりと地域）
佐藤泰子：精神障害者の社会復帰支援
岡安裕介：日本の文化と心の病い
舟木徹男：精神障害者に対する収容主義と施設
得能想平：精神障害と社会構造

授業回数はフィードバックを含め全15回とする。

＊コーディネーター：松本卓也

[履修要件]

後期の「行動病理学Ⅱ」では、代表的な精神障害についての概説や支援についてを考える。継続受講を推奨する。

[成績評価の方法・観点]

期末試験（100%）による。
ただし、登録人数や授業形態等に応じて、成績評価の方法を変更することがある。講義時間中なら

行動病理学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

行動病理学Ⅰ(2)

びに掲示による通知に注意してください。

[教科書]

松本卓也・武本一美（編）『メンタルヘルスの理解のために：こころの健康への多面的アプローチ』（ミネルヴァ書房, 2020）ISBN:9784623087426

[授業外学修（予習・復習）等]

予習と復習のために、指定されたテキストと参考書を期間中に読書し、また復習として自筆ノートを振り返っておくこと。
なお、授業外学修には、いわゆる「予習・復習」だけでなく、授業のなかで学んだことを各自の自習や日常や課外活動のなかで応用・実践し、生きた知識にすることも含まれる。

[その他（オフィスアワー等）]

[実務経験のある教員による授業]

①分類
実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目

②当該授業科目に関連した実務経験の内容
精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験

③実務経験を活かした実践的な授業の内容
精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験にもとづいて、精神医学と精神医療および社会福祉に関する知識を教授する。